

「看護師さん、 忙しそうやなあ〜」の巻

1. トイレに行きたいな！
今日も看護師さん忙しいそうやし…。



2. トイレぐらい
一人で行ける
やろう



3. あ〜 足に力が はいらへんわ！



4. あ〜 良かった！
助けてくれて
ありがとう。



「忙しいのに呼んだら悪いかな…？」と
気を使わずに、トイレに移動したい時は
ナースコールで知らせてください。

医療安全

「転ばぬ先の杖」

転倒予防(病院編)



公益社団法人 滋賀県看護協会
医療安全推進委員会

〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号

TEL 077-564-6468

FAX 077-562-8998

E-mail : sigakan@gold.con.ne.jp



入院生活は、自宅と違った環境で生活をするようになります。そういった環境の変化、体力の低下や運動機能の低下で、滑ったり転んだりすることがあります。また反対に、今まで出来ていなかった事が出来るようになり、行動範囲が広がることで転ぶこともあります。入院生活を安全に過ごすために、次のことに注意して、滑ったり転んだりしないように心がけましょう。

—入院患者さんへ—

●自宅で尻もちや転倒したことがあれば、入院時に職員へお伝え下さい。

転倒・転落の防止対策に役立ってます。



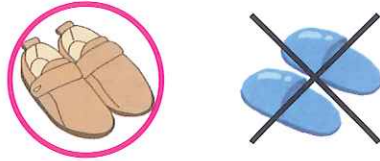
●パジャマは体に合っているものを着用しましょう。

パジャマの裾が長いと歩行する時に引っかかり転ぶ危険があります。



●履物は靴をおすすめします。

スリッパは脱げやすく、すべりやすいため転倒する危険性が高くなります。履き慣れた靴を履きましょう。



●ベッド周囲の環境を整えましょう。

濡れているところを歩くと滑りやすく危険です。床が濡れていたらお知らせ下さい。



●動く物につかまらないようにしましょう!

床頭台、オーバーテーブル、点滴スタンドなど固定されていない物につかまると危険です。



●車椅子の乗り降りに注意しましょう。

ブレーキのかけ忘れは車椅子が動いて危険です。

足を乗せるところに立つと車椅子が倒れます。必ず、床に立ちましょう。



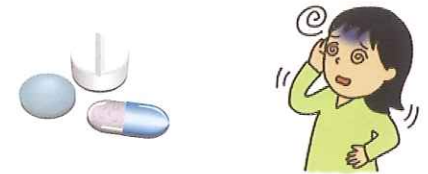
●「自分は出来る」と過信しないようにしましょう。

体力や筋力の低下によりバランスを崩しやすくなっています。



●睡眠剤や精神安定剤の服用によるふらつきに注意しましょう。

特に夜間、目が覚めたとき薬の影響でふらつき、転倒する危険があります。



移動に不安がある方は、遠慮なくナースコールを押して、お知らせ下さい。移動のお手伝いをします。

